昨年度はACCESSの基礎と応用を「さら～っと」教えてもらった。
先生によると、ACCESSというデータベースソフトは奥が深く、
“業務”をまるごと作り上げるようなこともできるという。
そこで、せっかく教わるなら自分の仕事に役立つように
“運用実績管理業務”を作ってみようと考えた。
目標は年度末の完成！（なんて、公言してイイんかなぁ…）

これは、アクセスにあくせﾝす（悪戦す）る苦闘の日記である。（^^；）

第7回

前回までのあらすじ

ACCESSで業務処理を完成させる！と決意した野口は、システム部門の1年先輩に教えを乞う。先輩は毎回ヤキニクを奢ることを条件に、手取り足取り教えてくれることになった。
（^^;）ｺｳｷｭｳﾅﾔｷﾆｸﾊﾏﾀﾞﾀﾍﾞｻｾﾃﾅｲｶﾞ…
既存の帳票から項目を3段階に分析するという手順によるテーブルの基本設計後に、やっとパソコン操作が始まった。テーブルの作成，リレーションシップの作成などの後に、実際のデータもデータベースにインポートすることができた。そこへ「データ入力のフォームを作ってこい」という厳しい宿題が・・・！。果たして業務システム構築のゆくえは如何に？

10月×日　一人でパソコンに向かう野口。宿題の進み具合はいかがなものか…

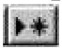
「さて、入力フォームを作れと言われたがどうやったらいいのか…とりあえず、テキスト（＊1）を参考にしてテーブルからフォームを作ってみよう。」
「どのテーブルから作るか…、“ファンド”や“資産区分”、“政策アセット”なんかは、一回登録したらめったに変えないから、必ず毎回データを追加していく、“ベンチマーク実績”と“ファンド実績”のフォームから作ることにしようっと！」　**（テキスト応用編、P104～109 を参照）**

＊1）テキスト　Microsoft　Access2000　セミナーテキスト（初級編・応用編）
以降は、“テキスト”という場合はこれらを指します。

「ではさっそく、[フォーム]→[新規作成]→[フォームウィザード]、…**（図1）**
それでは、「ベンチマーク実績」の入力フォームから作ろうかな。[テーブル／クエリ]から、“ベンチマーク実績”を選んで、必要な項目を“＞”で選択してフォーム側のフィールドに移せばいいんだな。」 …**（図2）**
「できれば、ベンチマークIDを入力したときに、ベンチマークの名前が表示されるといいけどなぁ
ここに“複数のテーブルまたはクエリからフィールドを選択できます。”ってあるから、もう一つ“ベンチマーク”テーブルを選択して、『ベンチマーク名』フィールドも表示させよう！」 …**（図3）**

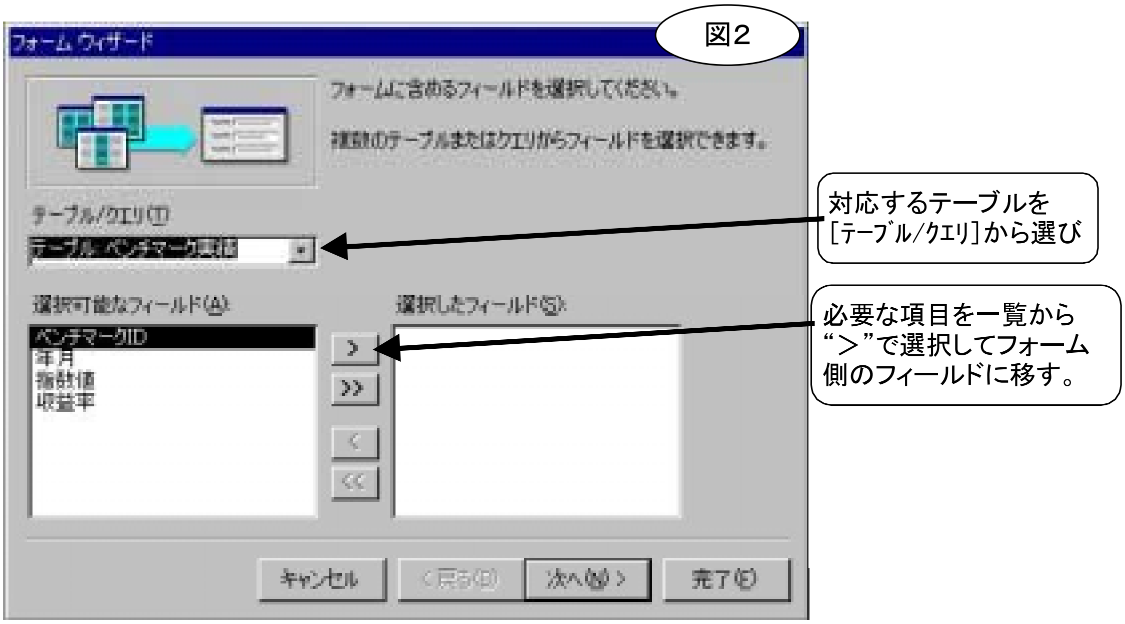
「[次へ]→フォームのレイアウトは[単票形式]→[次へ]、…スタイルは標準でいいな。
[次へ]→フォームの名前は“F_ベンチマーク実績”としよう。→[完了]と、」　…**（図4，5，6）**

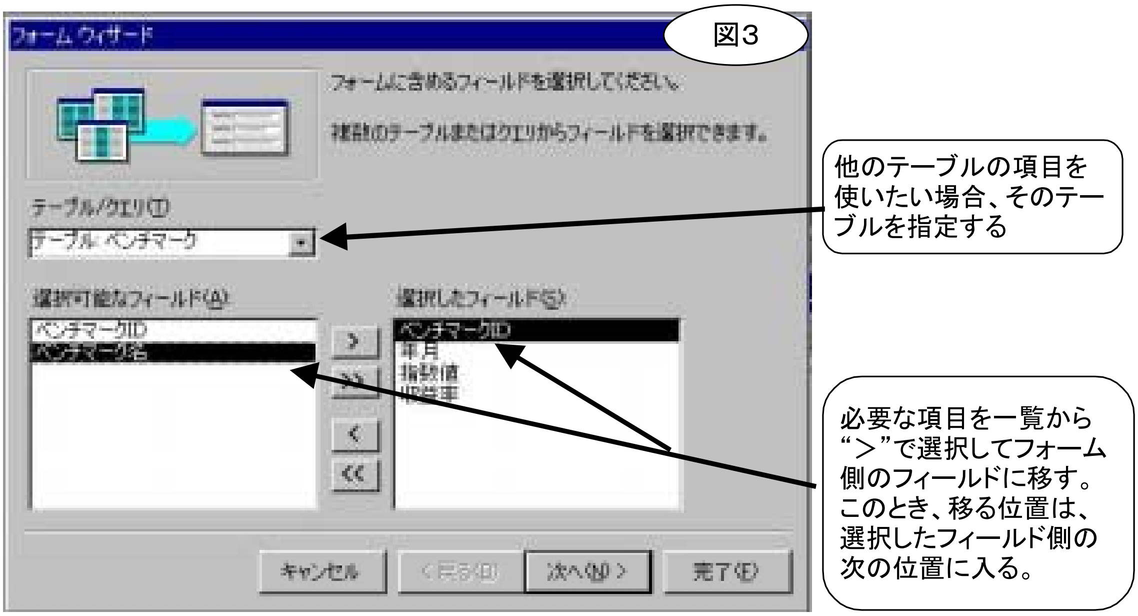
これを押す

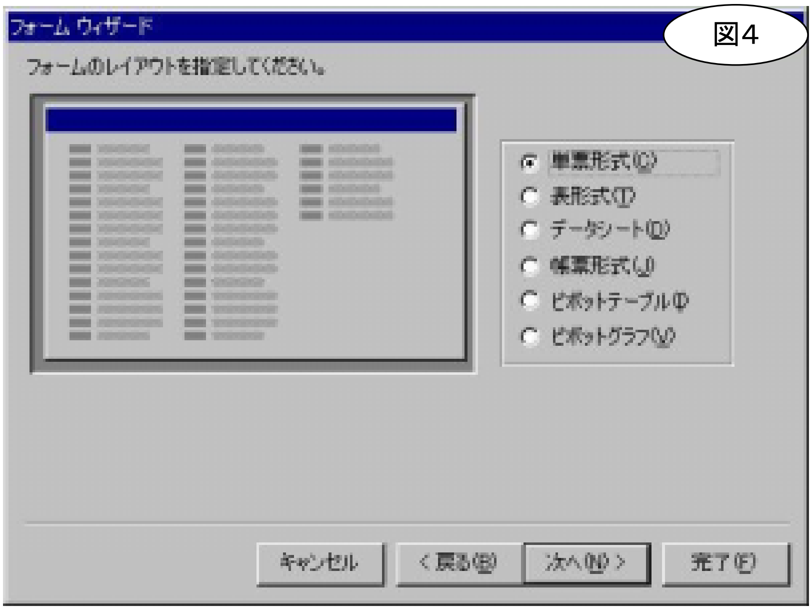
「お！ちゃんと入力画面っぽいのが出てきたぞ！先頭のレコードが表示されているな、どうやら。」
「新しいデータを入力するのはどうしたらいいのかな？」
「レコードの  ボタンを押して、
最終レコードの次を表示させる。
インポートデータは7月まで用意したものだから、この入力画面で、8月以降を入力できるな。」

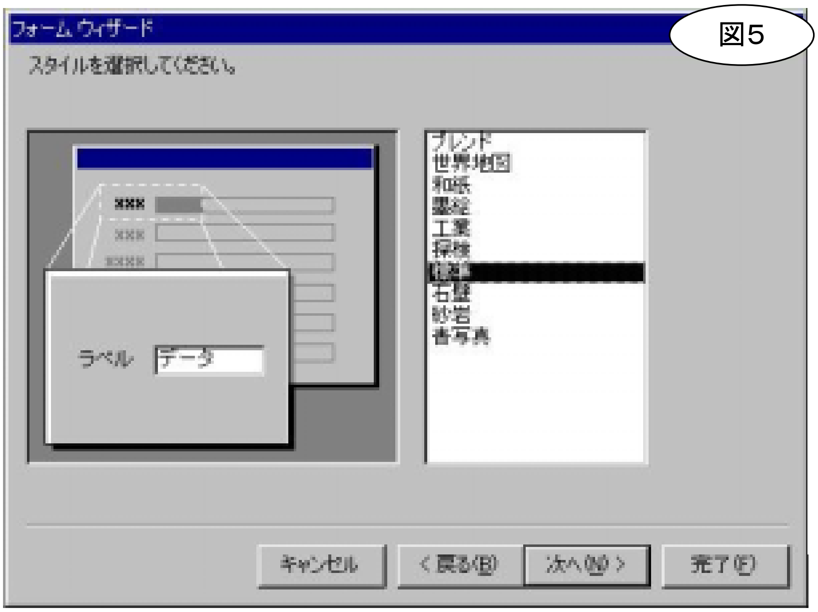
4ページへ

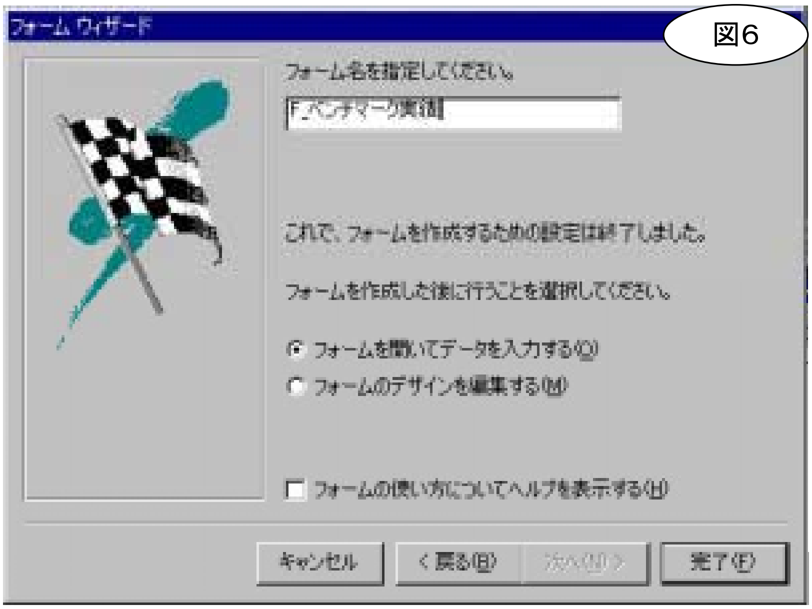
「ベンチマーク実績」入力用のフォームを作成する



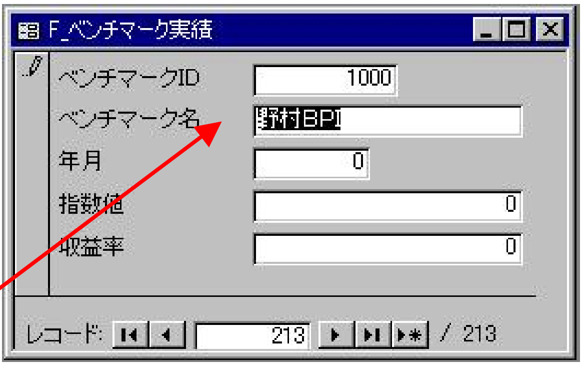



フォーム ウィザード
フォームのレイアウトを指定してください。
単票形式(C)
表形式(T)
データシート(D)
帳票形式(J)
ピボットテーブル(I)
ピボットグラフ(V)
キャンセル
< 戻る(B)
次へ(N) >
完了(F)
図4


フォーム ウィザード
スタイルを選択してください。
ラベル
データ
世界地図
和紙
墨絵
工業
探検
標準
石region
砂岩
青写真
キャンセル
< 戻る(B)
次へ(N) >
完了(F)
図5


フォーム ウィザード
フォーム名を指定してください。
これで、フォームを作成するための設定は終了しました。
フォームを作成した後に行うことを選択してください。
フォームを開いてデータを入力する(O)
フォームのデザインを編集する(M)
フォームの使い方についてヘルプを表示する(H)
キャンセル
< 戻る(B)
次へ(N) >
完了(F)
図6

「さて、画面が213件目になった。
ベンチマークIDが1000と入力し、Enter。お！ちゃんと“野村BPI”と表示されるぞ。ベンチマークテーブルから持ってくるんだ。えらいねぇ♪」
「しかし、カーソルがベンチマーク名のところに行くってことは、入力もできるから、間違えてベンチマーク名を変えてしまうことが考えられるな。
このフィールドは入力できないようにしないといけないぞ。」



（ここで、テキスト応用編P131〔！ヒント；“使用可能”、“編集ロック”プロパティ〕を参照）

「まず、デザインビュー にして、と。」

「変更するコントロールを右クリック、

↓

そして、[プロパティ]を選択

↓

ベンチマーク名のプロパティが出るので、[データ]タブの中の『使用可能』を、“**いいえ**”『編集ロック』を、“**はい**”に変更して閉じる。

[ビュー]ボタンを押してフォームビューに切り替えベンチマーク名のフィールドにカーソルが行かないことを確認すればいい。」

「さて、もし**間違えて入力した場合**はどうしよう。
このままだと、213件のデータを ◄ や ► ボタンで探して変更をしなければならないぞ。
それに、**削除しなければならないような場合**も出てくるだろうなぁ…」

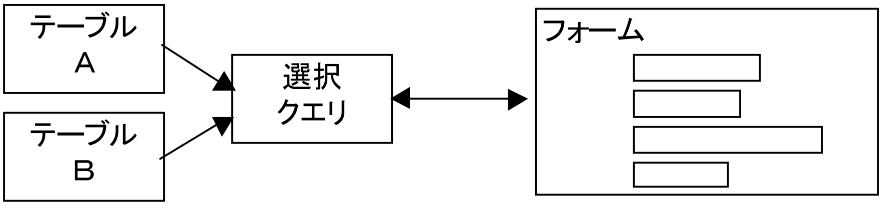
「ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ名には入力が出来ない（カーソルが行かない）

「困ったときの“先輩”頼み、ということで明日先輩に聞きにいくことにしようっと♪」

10月△日

野口;「先輩、おはようございます。」
先輩;「やあ、早いじゃん。もう課題はクリアしたの？」
野口;「いやぁ、それがなかなか難しくて、それれで教えてもらいにきました。(^^;)」
先輩;「ふぅ～ん。別にいいけど。ちょうど金欠だったし…一食浮くかなぁ。」
野口;「げっ！まだ朝ですって。ま、余り過大な期待は抱かないように…ね。(^o^;)」
先輩;「それで、どういうところが分らないわけ？」
野口;「はい。では、カクカクシカジカ…で、変更・削除フォームの作り方なんですが…」
先輩;「なるほど。それじゃ簡潔にポイントを書くと、このようになるんだ。」

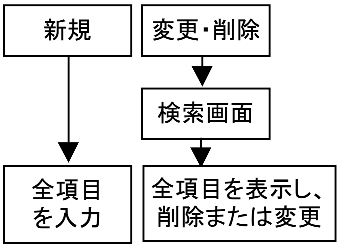
(1)まず、入力フォームの基になるデータは、「テーブル」直接ではなく、できれば「選択クエリ」を作って、それを対象にしてフォームを作るのが推奨です。これは、テーブルのデザインの変更などが起きた場合に影響が大きくなるのを防止する意味がある。

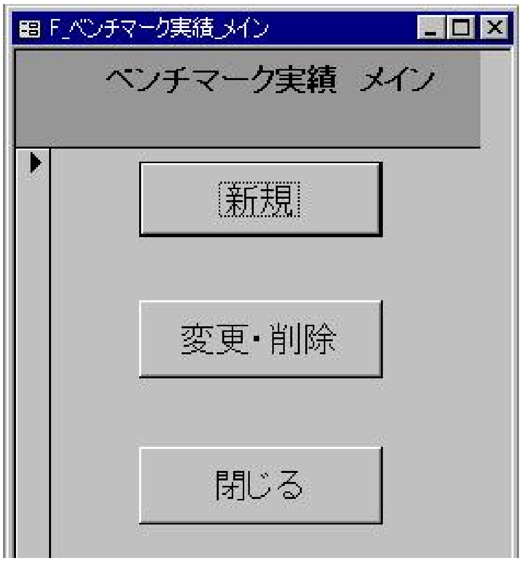


野口;「選択クエリはどんな内容なんですか？」
先輩;「一番単純なのは、すべてのフィールドを持ってくる選択クエリだね。これをまず一つ作っておくといいよ。」

(2)入力フォームの基本は、データの追加(新規)・変更・削除、それから「閉じる」ボタンです。処理を明確にするため、“メインの処理選択画面”を作るのも分りやすい入力フォームのポイントです。例えばこんなふう…

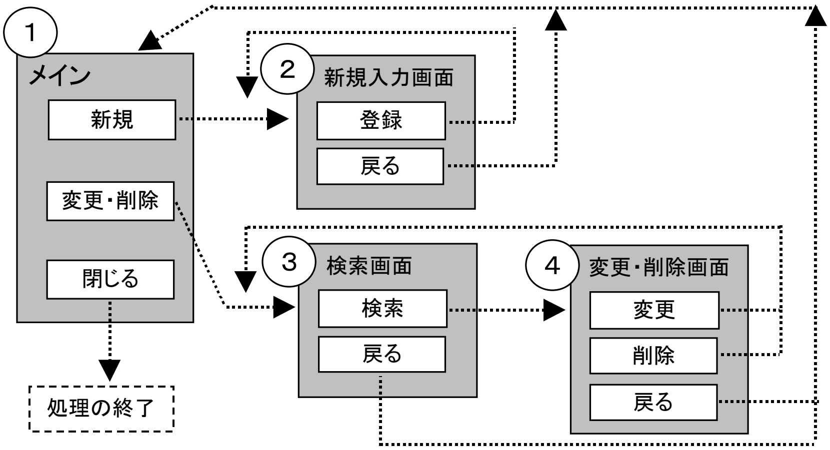
野口;「変更と削除が一緒になっていますね。そういうものなんですか？」
先輩;「変更と削除は、機能として
①該当のレコードを探す
②そのレコードを変更または削除、
という2段構えだからメイン画面では一緒でも構わない。その後「検索」画面を経て、修正・削除画面に移る。といった作りになるんだよ。」





野口;「なるほど。」
先輩;「そういったイメージができたら、画面の流れ図を作ってから作業をするといい。」

（３）処理と画面の流れ図を作ってみる。



野口；「これが流れ図ですか。」
先輩；「画面の名前とボタンだけ。処理後にボタンを押した時の移動だけを表しているんだ。」
野口；「目が回りそうですね。」
先輩；「『戻る』とか『閉じる』ボタンがあることに注意してね。普通、一つ前の画面や、メイン処理に戻るように設定するんだ。」
野口；「『登録』とか『削除』などの処理はどうなってるの？」
先輩；「ボタンを押したときに、登録処理をして、もう一度同じ画面や、検索入力に戻している。」
野口；「なるほど。」

野口；「そうすると、フォームを4つ作ればいいんですね。」
先輩；「そう。それぞれフォームに名前をつけとくといいよ。それから、ボタンにも名前を考えて。」
野口；「単純に、新規フォームとか削除ボタンとか…」
先輩；「“ベンチマーク実績”の処理だけでなく、システム全体を考えて、ダブったり覚えにくいのはダメだね。案として、表を作ってあげよう。こんなんで、どう？」

“ベンチマーク実績処理”

画面の名前	フォームの名前	ボタン	ボタンの名前
メイン	F_ベ実_メイン	新規 変更・削除 閉じる	F_ベ実_新規 F_ベ実_変更 F_ベ実_閉じる
新規入力	F_ベ実_新規	登録 戻る	F_ベ実_新規_登録 F_ベ実_新規_戻る
検索	F_ベ実_検索	検索 戻る	F_ベ実_検索_検索 F_ベ実_検索_戻る
変更・削除	F_ベ実_変更削除	変更 削除 戻る	F_ベ実_変更削除_変更 F_ベ実_変更削除_削除 F_ベ実_変更削除_戻る

野口；「うわっ、ダサイ！なんすか、この“ベ実”っていうのは？」
先輩；「“ベンチマーク実績”を約して入れたんだよ。長ったらしくなるでしょ。」
野口；「う～ん。ここまで細かくやらなきゃならんのか…」
先輩；「あのね。一つずつまとめながら作っていかないと、あとでごちゃごちゃになるよ。まあ、我慢しなさい。」

野口；「それで、この“ボタンを押したとき”の処理はどんなカラクリになるんですか？」
先輩；「プロパティの中に“イベント”タブがあったでしょ。その中に、“クリック時”という枠があるから、そこに**マクロ**を登録するんだ。フォームを開くときは『フォームを開く』という処理の**マクロ**、削除のときは『削除処理』の**マクロ**を作っておいて、クリック時にそれが動くようにすればいい。」
野口；「………」
先輩；「なに固まってるの？」
野口；「いや、頭の中が真っ白になっちゃって…」
先輩；「へえ。目の前がマクロ（真っ黒）になったのかと思った。」
野口；「先輩！！（涙涙涙涙）」

野口;「でも、いきなり“**マクロ**”」を作れといっても途方にくれちゃいますよねぇ。」
先輩;「**フォーム**のことだけが頭にあったんでしょ？Excelでも定型処理をマクロにしたりするじゃない。Accessでは処理から処理への橋渡しを**マクロ**が受け持つように作っていくんだよ。だから、小さなシステムでも処理の関連図や流れ図を作ったり、それぞれのフォームやコントロール（ボタンやテキストボックスなど）のネーミングなども気を配る必要があるんだ。」
野口;「それで、とりあえずどうすればいいですか？」
先輩;「テキストのマクロのページ（第6章;P177～203）を勉強して！その上で、次回は入力フォームを完成させましょう。」
野口;「前途多難だなぁ～。(TT;)」
先輩;「それより、お腹すいたよね。」
野口;「出ると思った！今回は、これでごカンベン！」 バサッ!!
先輩;「ん？〇〇ドナルド？」
野口;「いいえ。**今ヒット中の“和紙バーガー”**でっせ。」
先輩;「へえ、なにその“ワシ”って？」
野口;「“和紙”でくるんであるから、“和紙バーガー”。業界用語というか社内造語ですかね。」
先輩;「確かに、どこにも“和紙”なんて書いてないよね。デハさっそく…」

野口;「あっ二人分のつもりなのに、袋ごと取っちゃった！」
　　(^^;)ｲﾔｼｲﾔﾂﾀﾞﾅｧ…

To be continued...

＜ コーヒーブレイク ＞

先;「最近、〇〇ファンドに投資しませんかとか、商品先物をやってみませんかなんて勧誘が多いんだよ。」
野;「よそから飛び込んでくる儲け話なんてありませんからね。耳を貸さないほうがいいですよ。それにしても、先輩にカネがあるようには見えませんけどねぇ。」
先;「大きなお世話！でも、資産といっても普通預金と定期預金が少々、あとは財形貯蓄だけだもんなぁ。」
野;「立派なもんですよ。それに財形なんかは、余裕があればきちんと積んでおくほうがいいですね。後から“助かった”と思う場面がありますよ。きっと。」
先;「でも、投資の知識はあったほうがいいような気がするし、このまえ、日経の日曜版に『金融教育は小学生から』というような記事が出ていたけど、最近の子供はいいよなぁ。」
野;「そんなコトないですよ。あの記事の冒頭は、『“子供には早くから金融の知識を学ばせたい”と考える親は少なくない』となっていましたけど、マユツバもんですね。」
先;「そうなのかなぁ。おカネの大切さを教えることは必要と思うけど。」
野;「おカネの大切さを教える、というのと、おカネを増やす方法を教えるというのはエライ違いです。」
先;「それはそうだね。“金融教育”ではおカネの大切さを教えることにはならないのかな？」
野;「“大切さ”という言葉をよくかみしめてみてくださいね。命の大切さ、愛情の大切さ、おカネの大切さ、もし順番に教える、というのであれば、どれが最後にくるんですか？」
先;「……」
野;「おカネ“**も**”大切、なのであって、その大切さを受け止める“**ハート**”のほうがまず大事と思いますね。」
先;「いや…恐れ入りました。キミって見かけによらずしっかりした考えをもっているんだねぇ。」
野;「デヘヘ、実はコレ“受け売り”なんですよね。オリジナルは以下なので参照してください。(^^;)」
　http://www.sumitomotrust.co.jp/PEN/research/07_04_70_4081.html　にあります
先;「だと思ったよ、でもいやに熱が入っていたんで…キミ消費者金融に追われてない？」
野;「先輩！（見る目がないなぁ、アンマリだぁー）」